

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	介護給付費適正化に向けた取組
区分	介護給付費適正化

現状と課題

【現状】

認定率について、町の「調整済み認定率」で見ると、近隣市町や全国・県平均と比べて、中・重度者（要介護３～要介護５）で高く、軽度者（要支援１～要介護２）で低い傾向にある。また、重度化してから介護認定申請を行う傾向があるため、施設系サービスの割合が高く、居住系サービスの割合が低い。軽度者では、通所系の利用離れ傾向がある。

【課題】

住民に対する介護保険制度・サービスの周知・広報の充実に加え、要介護認定の適正化や、過不足のない適正な介護サービスの提供に務める。

第９期における具体的な取組

適正化主要３事業の計画的な実施

- ❶ 要介護認定の適正化
- ❷ ケアプランの点検及び住宅改修等の点検
- ❸ 縦覧点検・医療情報との突合

目標（事業内容、指標等）

❶ 要介護認定の適正化

認定調査の結果について調査票の点検確認を実施し、適切かつ公平な認定の確保を図る。介護認定審査会における各合議体での格差等の把握や全国保険者との比較を行い、軽重度変更率の平準化を図る。

❷－１ ケアプランの点検

利用者の自立支援・重度化防止に資する適切なケアプラン作成に向け、ケアプランの点検・支援を行う。

❷－２ 住宅改修等の点検

住宅改修や福祉用具の購入・貸与について、申請書類等に加え要介護認定時の訪問調査結果等により確認を行い、疑義が生じた場合には担当ケアマネジャーへの確認や訪問確認を行うなど、適切な審査や支給を行う。

❸ 縦覧点検・医療情報との突合

複数月にまたがる介護報酬の支払い状況を確認し、請求内容について確認する。また、国保連合会の給付実績を確認し、介護と医療の重複請求等の適正化に取り組む。

目標の評価方法

●時点・・・実績評価のみ

●評価の方法

- ・ 各事業の実施回数の確認
- ・ 過誤申立等の件数や金額の確認

年度	令和6年度
前期（中間見直し）	
実施内容	
自己評価結果	
課題と対応策	

実績評価

実施内容
①要介護認定の適正化 ・調査の適正化 調査票の事後点検 100%。研修会の参加（1回）。 ・審査会の適正化 各合議体における格差等の把握と全国保険者等の比較。 研修会の参加（1回） ②－1 ケアプランの点検…点検会議2回（7人分実施）、随時点検 9人分実施。 ②－2 住宅改修等の点検…書類点検115件（100%）、訪問調査6件実施。 ③縦覧点検・医療情報との突合…（月1回/12回実施） ・介護給付と医療情報との突合 内容確認 ・給付状況の縦覧点検 内容確認 ・要介護認定期間の半数を超える短期入所受給者一覧表 事前提出書類との突合 ・軽度の要介護者にかかる福祉用具貸与品目一覧表 事前提出書類との突合
自己評価結果【◎】※
目標を達成できた。
課題と対応策
・令和7年度においても、給付適正化事業は継続して取り組んでいく。 ・介護給付費適正化に関する他市町の取組を参考にし、より効果的かつ効率的な点検の実施に努める。 ・住宅改修等の点検の中で、当該住宅改修が自立支援を阻害しているような事案があれば、地域ケア会議での専門職を交えた協議検討を行う。

※「◎達成できた ○概ね達成できた △達成はやや不十分 ×全く達成できなかった」